PASSION FOR THE BEST

個人投資家の皆さまへ

大和証券グループ会社説明会

2024年2月

株式会社大和証券グループ本社（証券コード：8601）
経営企画部 IR室長 三柴 基

Daiwa Securities Group Inc.

本資料は、2023年度第３四半期までの業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2024年2月16日現在で公表可能な情報に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

PASSION FOR THE BEST

目 次

1. 大和証券グループの概要 ・・・・ 3

2. これからの資産運用 ・・・・10

3. 大和証券グループの強み ・・・・16

4. サステナビリティに関する取組み ・・・・24

5. 株主還元 ・・・・29

ご参考資料 ・・・・36

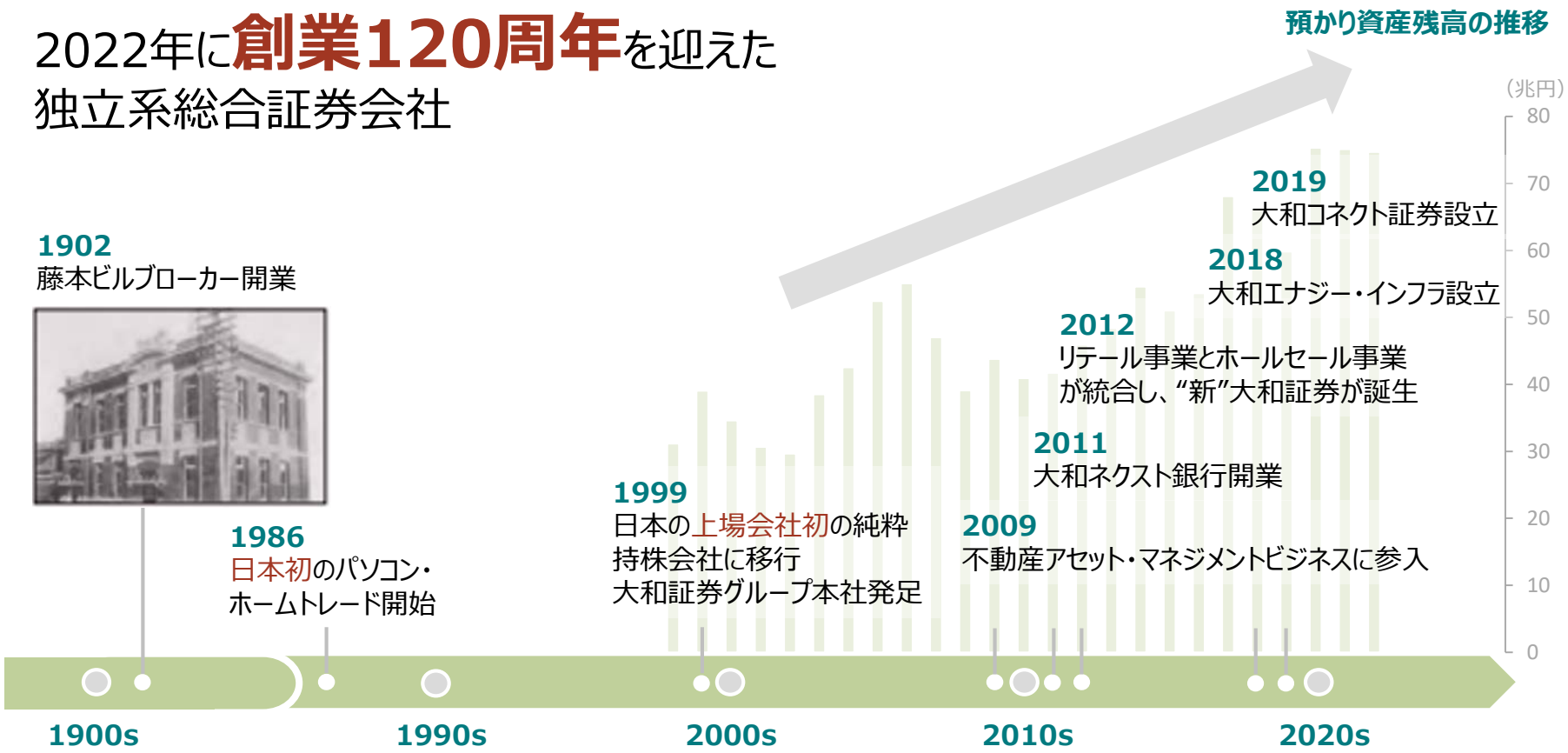
1. 大和証券グループの概要

大和証券グループのあゆみ

PASSION FOR THE BEST

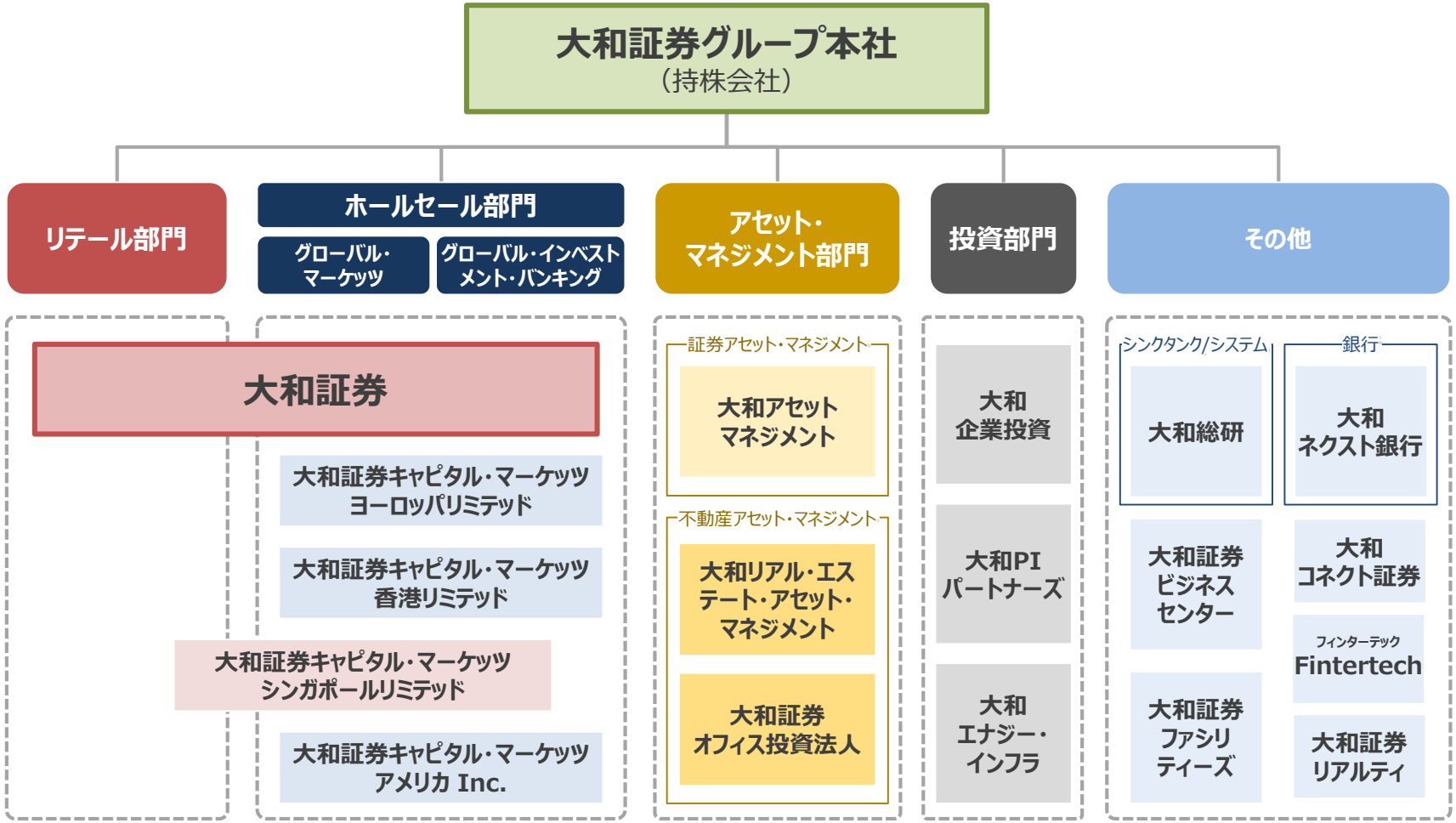
常にお客さまのニーズを第一に考え、
「パイオニア精神」のもと、変化を恐れず、日本の金融・資本市場をリード

2022年に**創業120周年**を迎えた
独立系総合証券会社



主要会社構成

持株会社である大和証券グループ本社が上場



資産管理型ビジネスを強化

PASSION FOR THE BEST

長期戦略に基づき、ビジネスモデルを大きく変革

過去

株式　債券

投資信託

ETF　ファンドラップ

マーケットに応じた商品提案

現在・今後

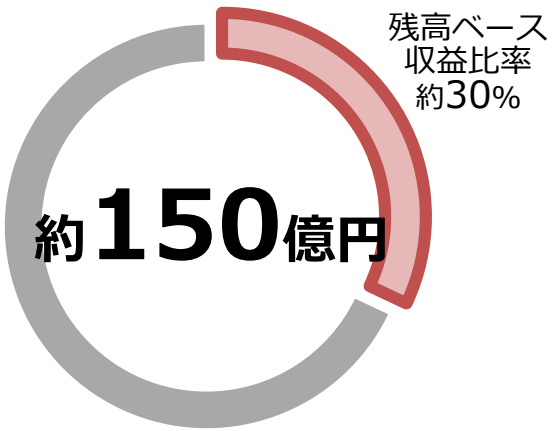
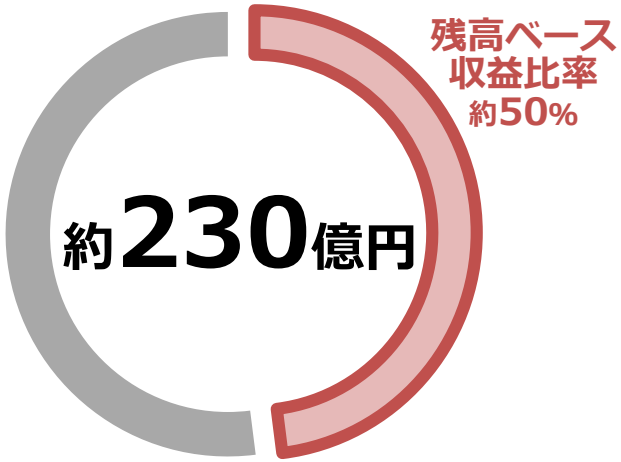
株式　債券
投資信託　ETF
ファンドラップ

お客さま一人ひとりのリスクプロファイル、投資ニーズに沿ったご提案

残高ベース収益の拡大

PASSION FOR THE BEST

長期にわたり、一貫して収益の安定化を図る戦略を実行

	2016年度第3四半期	2023年度第3四半期
残高ベース収益		
お預り資産	53.5兆円	83.9兆円

*残高ベース収益：投信代理事務手数料、投資顧問料・取引等管理料、銀行代理事務手数料、投信フレックスプラン残高フィー等

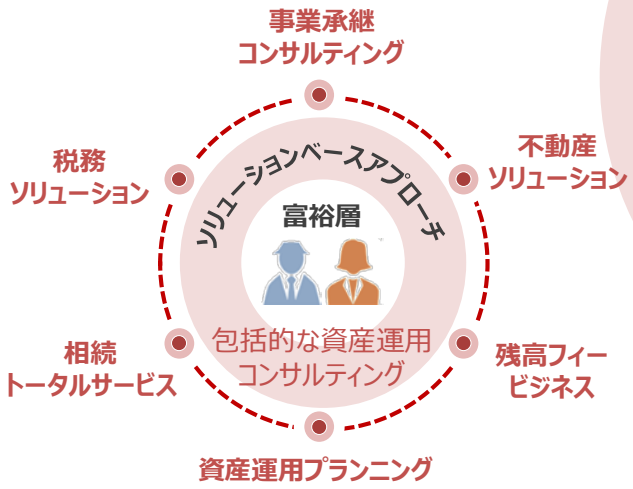
証券ビジネスの周辺領域へ拡大

PASSION FOR THE BEST

資産管理型ビジネスとハイブリッド戦略の融合で差別化

お客さまニーズに基づいた総資産アプローチ

オルタナティブ分野も含めた
包括的な資産運用コンサルティング



ハイブリッド戦略による
新たな資金循環の確立

更なるお客さま
満足度の向上へ

資産管理型ビジネスと
クオリティNo.1の実現

周辺ビジネスのアセットを対象とした商品を供給

オルタナティブ投資機会の拡充

- REIT　PO/IPO募集販売
- 不動産小口化商品 ← 大和証券リアルティ

対象物件イメージ

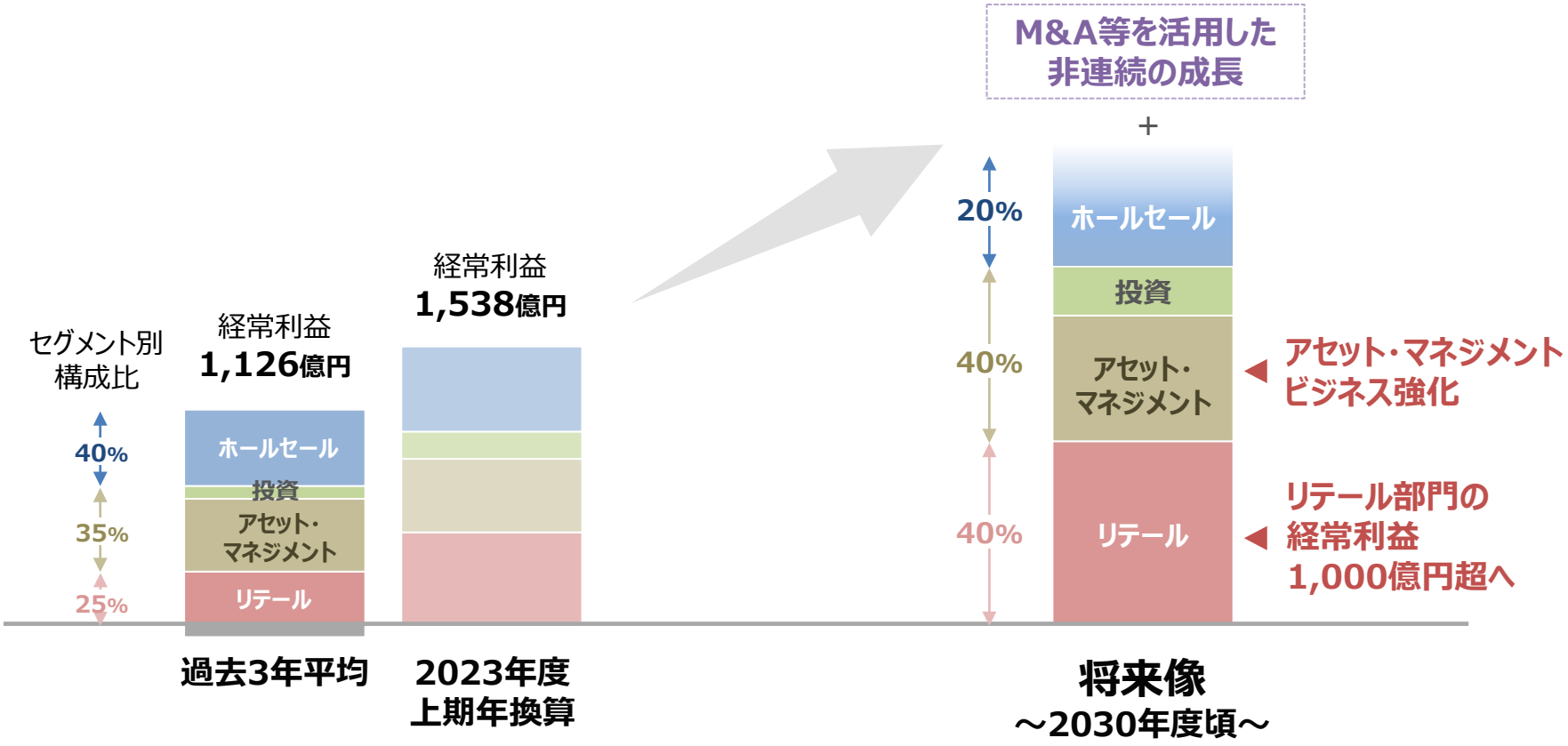
SDGsに資するビジネス領域

- 太陽光私募ファンド ← 大和エナジー・インフラ
- 大和ACA事業承継 ← ACA Inc.

2030年の利益構成イメージ

PASSION FOR THE BEST

収益が比較的安定しているリテール部門とアセット・マネジメント部門を強化し、外部環境に左右されにくい収益構造へ



2. これからの資産運用

外部環境の変化は追い風

金融・資本市場の担い手として「貯蓄から投資へ」を強力に推進

30年に渡るデフレの終焉

- グローバルなインフレ圧力による国内物価上昇

人生100年時代の到来

- 75歳の平均余命*
  - 男性　12.04歳
  - 女性　15.67歳

金利のある世界へ

- 日銀が2016年より導入したマイナス金利政策の解除が近づきつつある

資産所得倍増プラン

- 2024年1月から新NISAがスタート
- NISA制度が拡充・恒久化

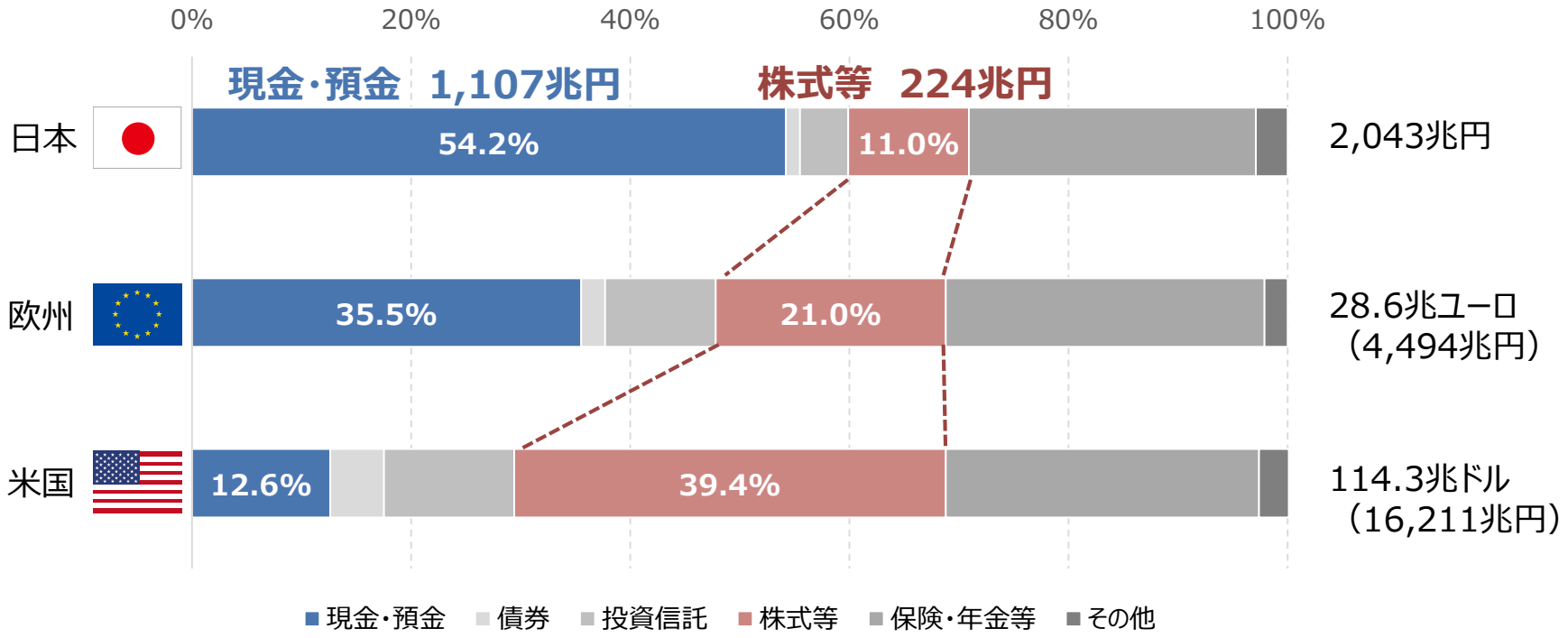
資産を現金・預金で持ち続けると資産価値が目減りするおそれ
資産運用ニーズの高まり

*　出所：厚生労働省、令和4年簡易生命表

世界の資産運用状況との比較

日本は個人金融資産の半分以上が現金・預金に留まる

国・地域別の家計の金融資産構成（2023年3月末現在）

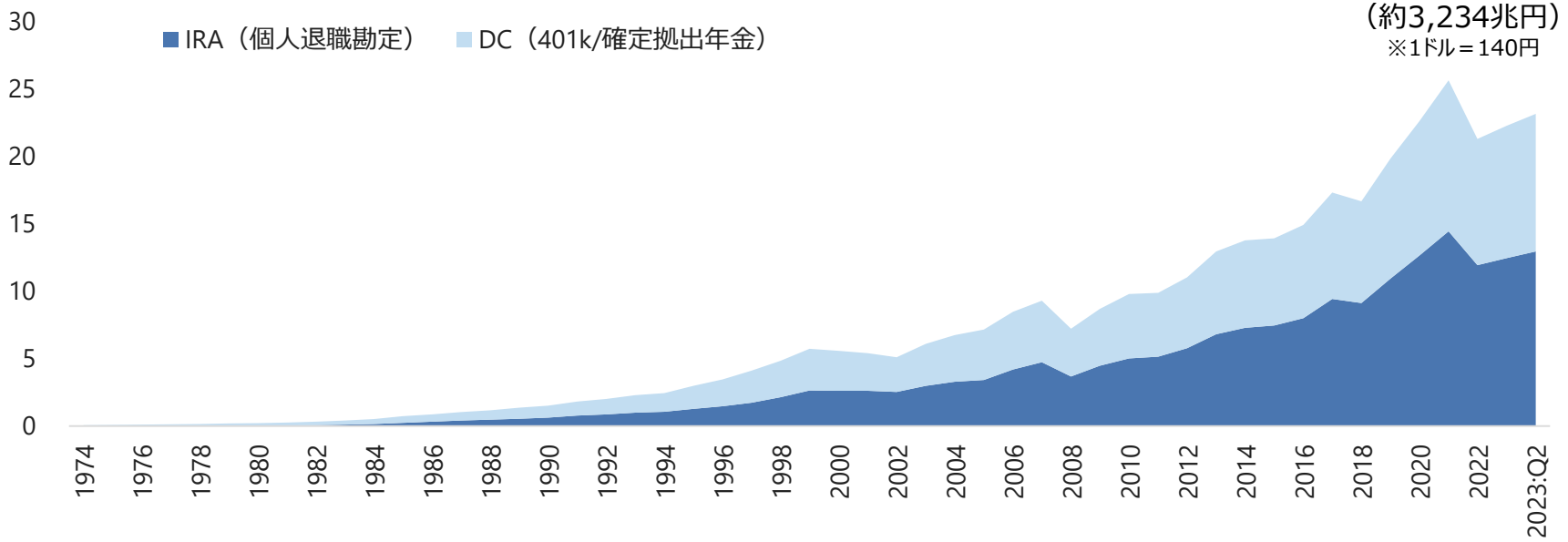


*　出所：日本銀行。為替は2023年12月末現在で計算

膨大なポテンシャルがある市場

米国では約40年前からの制度整備などを経て、有価証券投資割合が徐々に増加

米国における退職市場資産総額推移



家計の資産形成支援制度整備開始	投資教育の推進	家計の資産形成支援制度拡充
1974年 IRA(個人退職勘定)導入 1981年 401k(確定拠出個人年金)導入	DB(確定給付)からDC(確定拠出)へ 投資教育の法整備	401k・IRAの更なる拡充

最適なソリューションをご提案

PASSION FOR THE BEST

お客さま一人ひとりに合った運用スタイルを、一緒に作り上げていく

総資産アプローチ

お客さまの資産全体への
包括的なコンサルティング

弊社が提供する商品・サービスの例

- ファンドラップなど中長期安定運用ニーズに応える商品のご紹介
- 相続や財産承継を見据えた運用のご提案
- 不動産関連のソリューションのご提供
- 大和証券の口座と大和ネクスト銀行の口座を連携させ、証券・銀行両方のサービスをご提供

お客さまに選ばれるファンドラップ

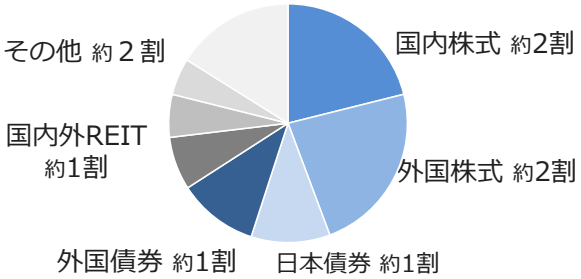
PASSION FOR THE BEST

ファンドラップ＝投資一任運用サービス。資産運用はプロにお任せ！

サービスの特徴

1 国際分散投資

例）バランス運用スタイルのポートフォリオ*



2 ご自身にあった運用計画（ヒアリング・ご提案）

3 運用・管理をプロにお任せ

4 運用状況のご確認・充実のフォローアップ

ダイワファンドラップご契約者向け動画イメージ

* 2023年10月時点

3. 大和証券グループの強み

数字で見る大和証券グループ

PASSION FOR THE BEST

安定収益に支えられたサステナブルで強靭な経営基盤を確立

アナリストのリサーチ力	コンサルティング力	資産管理型ビジネス	預り資産残高
2023年日経ヴェリタス総合ランキング	CFP認定者	ラップ口座契約資産残高	
5年連続 1位	1,515人*	3.7兆円*	83.9兆円*

クオリティNo.1	収益源の多様化	女性取締役比率	全国の拠点網
残高ベース収益比率	周辺ビジネスの経常利益比率	大和証券グループ本社14名中5名	全都道府県に
約50%*	約25%**	35.7%*	180拠点*（本支店・営業所）

* 2023年12月末時点　** 2023年9月末時点

高い情報提供力

PASSION FOR THE BEST

若手からベテランまでアナリストランキング上位者が多数在籍し、最新情報を発信

人気アナリスト調査

日経ヴェリタス*(株式部門)	5年連続	1位
2023 Institutional Investor (All-Japan Research Team)	4年連続	1位

セクター別トップアナリスト（13名）

投資情報レポートの発行

YouTubeでマーケット概況を毎日配信

アナリストによるウェビナー開催

* 日経ヴェリタス「第35回人気アナリスト調査」ランキング(2023年1月実施/2月公表)より大和証券作成

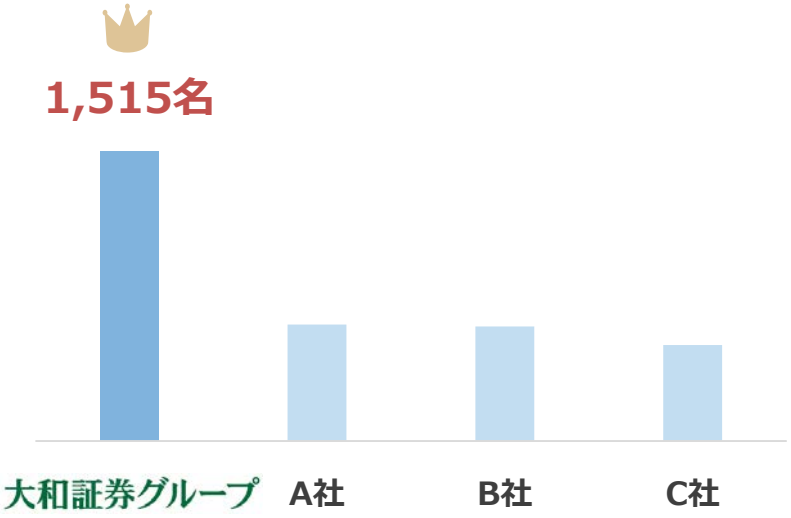
高いコンサルティング力

資産運用のプロがお客さまのニーズに真摯に寄り添う体制を構築

CFP認定者数

業界1位

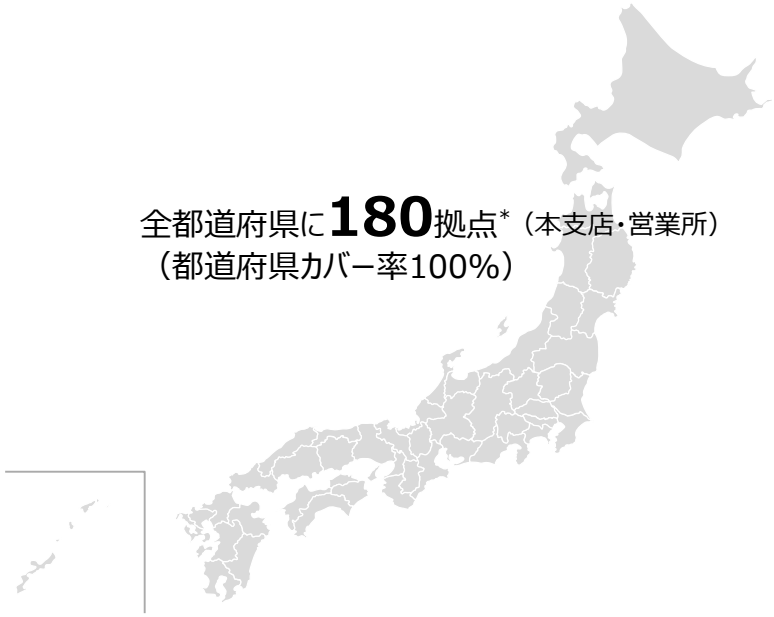
ファイナンシャル・プランナーの最高峰といわれる「CFP®」資格保有者数は、国内金融機関で最も多い1,515名＊（当社調べ）



相続コンサルタント

184名

CFP®保有者の中でも特に相続贈与の実務経験豊富な「相続コンサルタント」を全支店に184名＊配置



全都道府県に**180**拠点＊（本支店・営業所）
（都道府県カバー率100%）

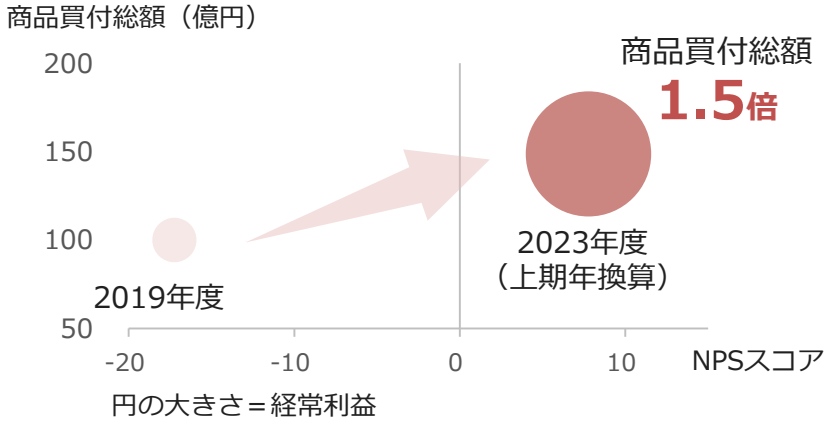
＊　2023年12月末時点

「お客さまの最善の利益」を追求

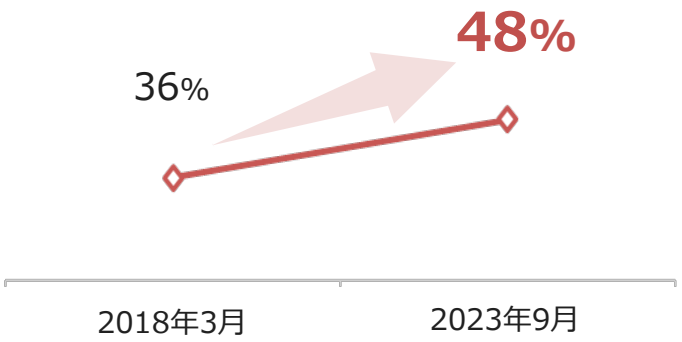
PASSION FOR THE BEST

NPS®を通じ、お客さまとの信頼関係をより強固なものに

NPS*1スコアと商品買付額・経常利益の関係



新規口座に占める紹介比率*2



Q. あなたは当社（または商品・サービス）を友人、知人、同僚にどの程度薦めたいと思いますか？

非常にそう思う											全く思わない
	推奨者		中立者		批判者						
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

NPS ＝ 推奨者の割合（%） － 批判者の割合（%）

ネット・プロモーター・スコア

*1 NPSは、ベイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムズの登録商標
*2 既存のお客さまからの紹介、ダイワ・コンサルティングコース、専任担当者あり、個人が対象

魅力的な運用商品ラインアップ

PASSION FOR THE BEST

高度化・多様化するお客さまニーズや課題に応える高いソリューション力

コンサルティングサービス

不動産サービス
（不動産売買、関連融資）

相続トータルサービス

事業承継コンサルティング

介護
（高齢者施設紹介）等

伝統的な金融商品

株式・債券・投資信託

ファンドラップ

保険

銀行預金

ＥＴＦ等

GLOBAL X

オルタナティブ商品

不動産小口化商品

不動産セキュリティ・トークン等

ラップ口座契約資産残高が順調に拡大

PASSION FOR THE BEST

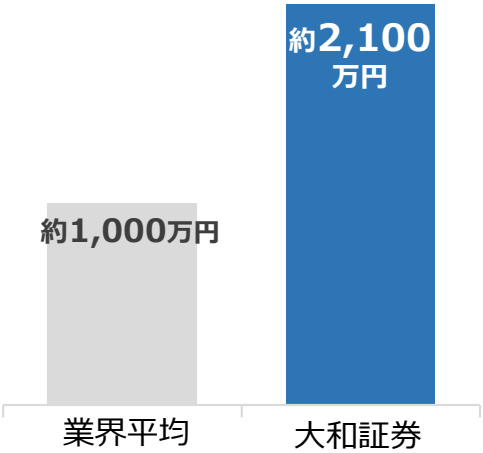
お客さまから選ばれ続けて、残高は3兆円を突破

おかげさまで大和証券は国内ラップ口座残高No.1※

※ 一般社団法人日本投資顧問業協会
「契約資産状況（最新版）（2023年9月末現在）『ラップ業務』」を基に大和証券調べ（2024年1月時点）

1契約あたり残高 *1

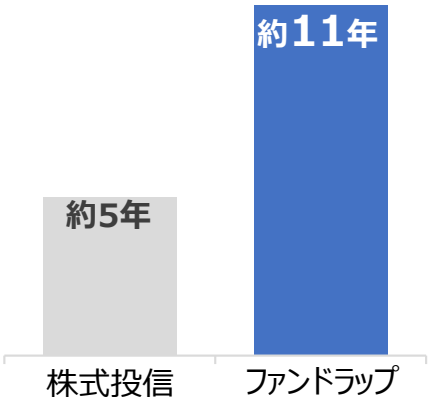
業界平均の約2倍



新規契約の割合 *2

平均保有期間 *3

保有期間は長期化

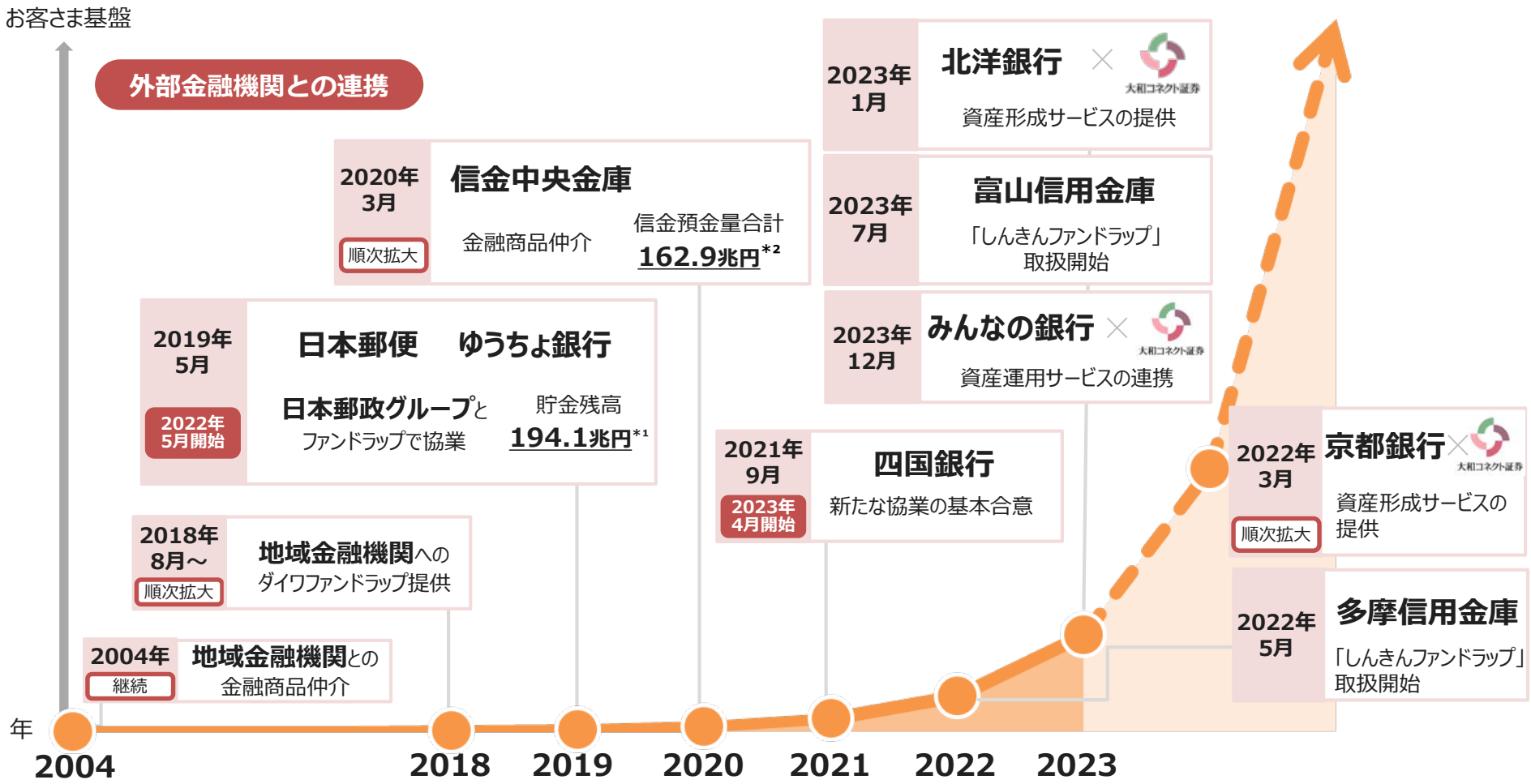


*1　ラップ口座のデータ。一般社団法人 日本投資顧問業協会「統計資料」より大和証券グループ本社が作成　*2　2023年度第3四半期
*3　2023年12月末時点、株式投信平均保有期間は大和証券の実績値

外部連携の強化による非連続の成長

PASSION FOR THE BEST

強固なお客さま基盤を持つ全国の金融機関との提携を推進



*1 2023年9月末時点
*2 2023年8月末時点。預金残高は信用金庫の全体の預金額合計金額。出所：信金中金 地域・中小企業研究所、信用金庫統計

4. サステナビリティに関する取組み

当社グループの事業を通じた取組み

PASSION FOR THE BEST

国内初の個人向けインパクト・インベストメント証券としてのワクチン債に始まり、継続して、社会課題解決に資する新たな金融商品・サービスを開発・提供

ワクチン債

国内初の個人向けインパクト・インベストメント証券

ウォータボンド/エコロジーボンドの販売開始

国内初のESG関連ETFを設定

グローバルEV関連株ファンドを販売開始

再エネ分野への投融資を行う子会社を設立

大和エナジー・インフラ
Daiwa Energy & Infrastructure

ハイブリッド戦略の本格化

証券会社として**国内初**のグリーンボンドを発行

2008 2010 2017 2018

住友林業

住友林業株式会社

世界初のグリーンCBをアレンジ

メガソーラー私募ファンドを組成

TESS テスホールディングス

テスホールディングス株式会社

環境分野における**国内初**のSDGs-IPOをアレンジ

国内初のファンドとしてカーボンゼロをめざす

脱炭素テクノロジー株式ファンドを設定

JAL JAPAN AIRLINES

日本航空株式会社

航空業界で**世界初**となるトランジションボンドをアレンジ

Kuradashi

株式会社クラダシ

B Corporation認証*企業として**国内初**のIPOをアレンジ

2018 2020 2021 2022 2023

* 米国ペンシルベニア州に拠点をおく非営利団体B Lab(Bラボ)が運営する、社会や環境に配慮した公益性の高い企業に対する国際的な認証制度

寄付を通じた社会貢献

PASSION FOR THE BEST

当社グループの財団法人・基金を通じた助成活動や、NPO等への助成活動により、必要とされるところへの着実な支援に努める

創業120周年記念「こどもの未来プロジェクト」

総額１億2,000万円

全国の大和証券本・支店が選定する
子ども支援団体へ1億1,000万円寄付
累計314団体に寄付を実施

贈呈式の様子（支店長と寄付先団体の皆様）

内閣府
「子供の未来応援基金」
へ1,000万円寄付

寄付目録贈呈式における野田元大臣と当社執行役社長 中田

大和ネクスト銀行　応援定期預金

累計8,700万円超

長期入院の子供達 応援定期預金
児童養護施設退所 応援定期預金
スポーツ用義足 応援定期預金など

「ジーンズ・デイ」

累計5,000万円超

2021年3月より、月に1日、役職員がカジュアルな服装で出社し、教育格差・貧困の連鎖の影響を受けている子どもたちへのチャリティーを実施

* 子供の貧困対策に係る官公民の連携・協働プロジェクトとして2015 年に創設

多様な人材が活躍できる人事戦略

PASSION FOR THE BEST

競争力の源泉である人財価値向上には、多様性・専門性の確保とともに質の向上が欠かせない。人的資本の価値を最大限に引き出すことで、企業価値向上につなげていく

人事戦略の基本方針

女性管理職比率（大和証券）

2005年度末		2023年12月末
2.8%	→	21.0%

CFP・証券アナリスト資格取得者数

2023年12月末

3,086人

デジタルIT人材

Python3エンジニア認定
基礎試験資格取得者数

2023年9月末

1,036人

金融リテラシー向上に向けた取組み

PASSION FOR THE BEST

さまざまな世代に対して、金融経済教育を通じて資産管理スキルを身につけるための教育プログラムを提供

YouTubeチャンネル

▼こちらからご覧ください

大和証券グループ 公式チャンネル
DAIWA INTERNET TV

大和証券や大和総研のアナリストなどが、毎日の相場や時節に応じたテーマをわかりやすく解説

▼こちらからご覧ください

MONEY SCHOOL 大和証券マネースクール

大和証券が運営する、投資初心者向けYouTubeチャンネル。お金や投資のことを、基本的なところからわかりやすく説明

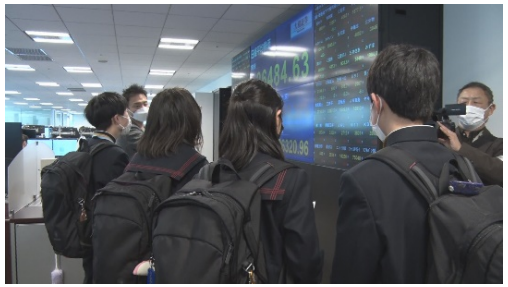
出張授業

教員研修受入

体験型コンテンツ(協賛)

九段中等教育学校の企業訪問カリキュラム

中田社長との懇談の様子

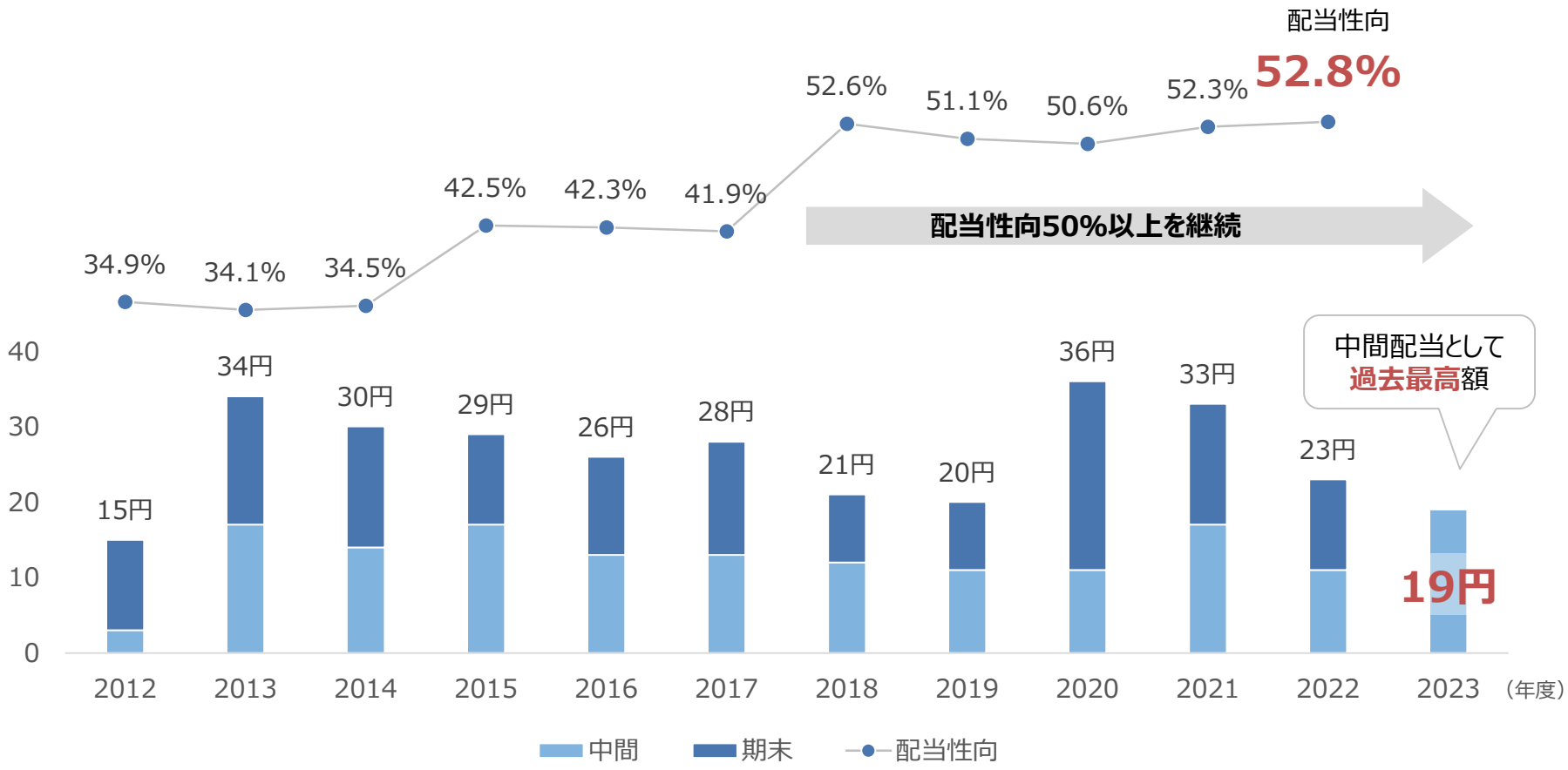


エクイティ部等のフロア見学

5. 株主還元

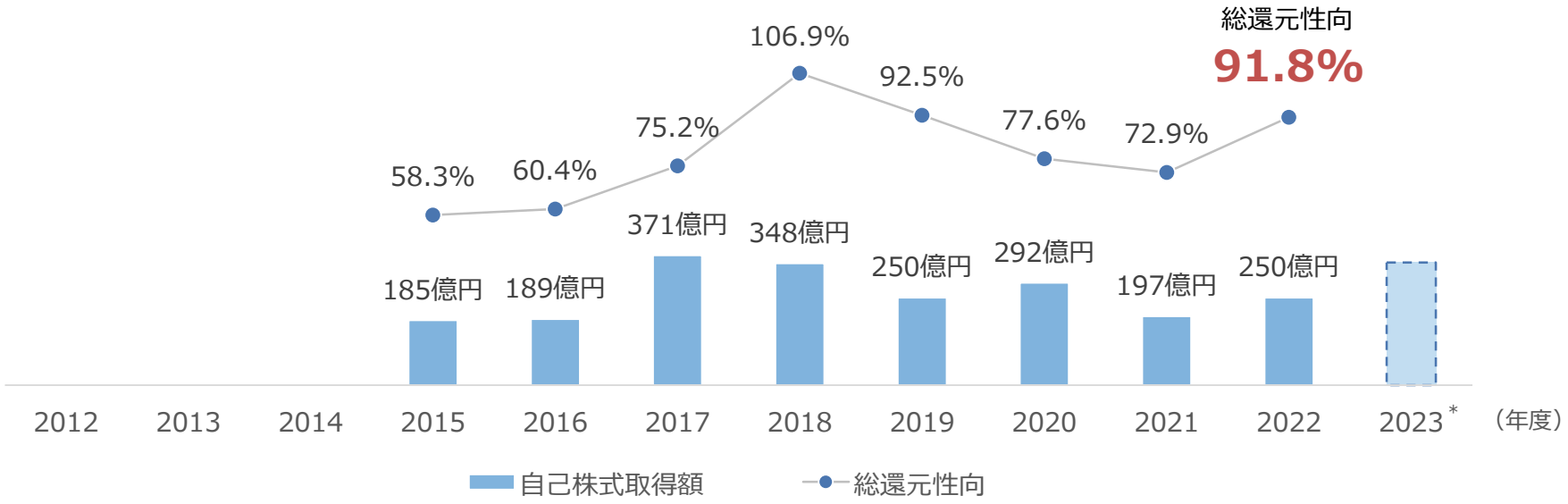
積極的な株主還元 1/2

半期毎に配当性向50%以上を目標に設定し、安定配当を継続



積極的な株主還元 2/2

自己株式取得も含めた昨年度の総還元性向は91.8%



自己株式取得の効果：1株当たり株式価値(EPS)の向上

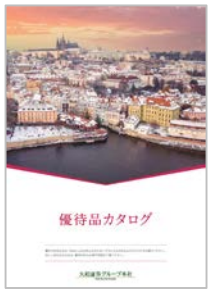
$$\text{EPS（1株当たり当期純利益）} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{自己株式を除く発行済株式総数の期中平均}}$$

* 2023年11月16日～2024年3月22日の期間、3,500万株または、総額350億円を上限として自己株式取得を実施中

株主優待制度 1/2

PASSION FOR THE BEST

株主優待品カタログから、お好きな優待品をお選びいただける株主優待を年2回実施

保有株式数	選べる優待品	株主優待品カタログ	株主優待品カタログ　掲載例
1,000～2,999株	1点	2,000円相当	 金澤やまぎし養蜂場 鶴屋八幡 一口羊羹
3,000～4,999株	2点	4,000円相当	
5,000～9,999株	1点	5,000円相当	ゴディバ アイス ギフトセット サントリー　ワールド ウイスキー 碧 Ao
10,000株以上	2点	10,000円相当	

※ 株主優待品は毎回変わります。また、株主優待制度の内容は毎回変わる可能性がございます

株主優待制度 2/2

2023年度中間期の申込み人気上位3商品

	1,000～4,999株		5,000株以上	
1位	アサヒ スーパードライ 350ml×8缶		アサヒ スーパードライ 350ml×21缶	
2位	サン・ダルフォー フルーツスプレッド詰合せ 5本入		うなぎ工房 うなぎ問屋の大五蒲焼 長焼2尾	
3位	鶴屋八幡 一口羊羹 10本入		特別栽培米 南魚沼産こしひかり 5kg	

今後のスケジュール

本年の権利付き最終日は以下の通り

時期（予定）	スケジュール概要
3月27日	権利付き最終日（通期）
4月下旬	決算発表（2023年度第4四半期）
6月下旬	第87回定時株主総会
9月26日	権利付き最終日（中間）

社長交代について

4月1日付で副社長の荻野が社長に就任

中田社長　　荻野次期社長

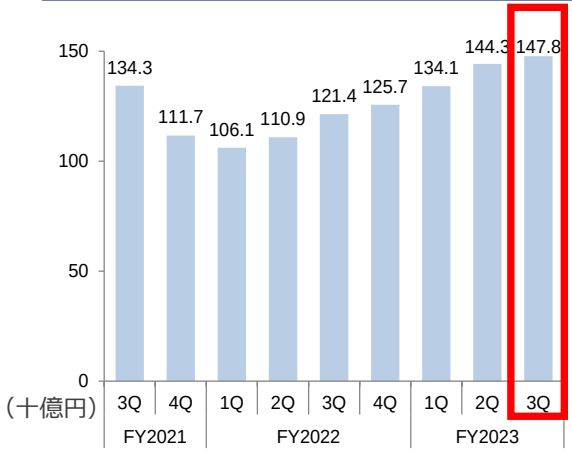
荻野次期社長のもと、本年5月に新中期経営計画を発表予定

ご参考資料

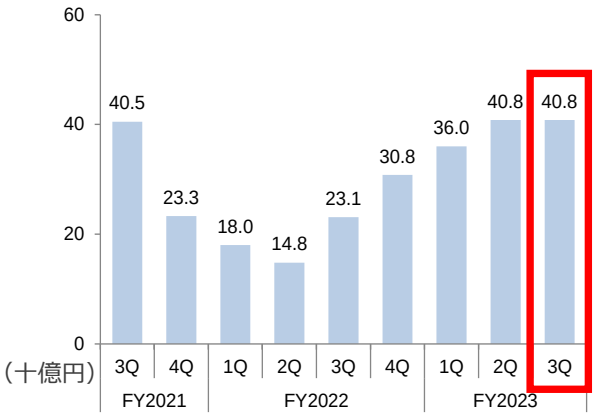
2023年度第3四半期決算概要

グループ連結業績	2023年度第3四半期累計	前年同期比	2023年度第3四半期	前四半期比
純営業収益	4,263億円	+25.9%	1,478億円	+2.5%
経常利益	1,178億円	+110.0%	408億円	+0.1%
親会社株主に帰属する純利益	819億円	+75.3%	284億円	△4.5%

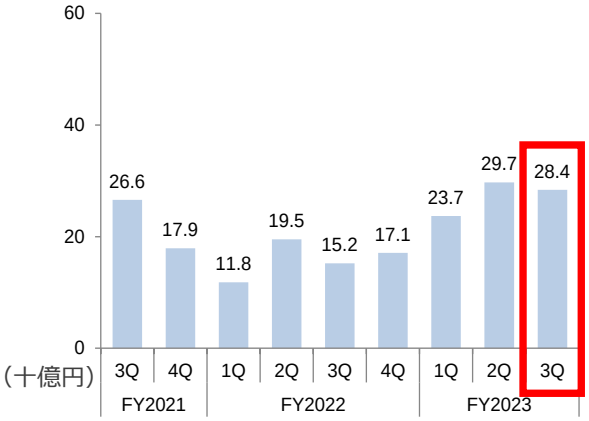
純営業収益



経常利益



親会社株主に帰属する純利益



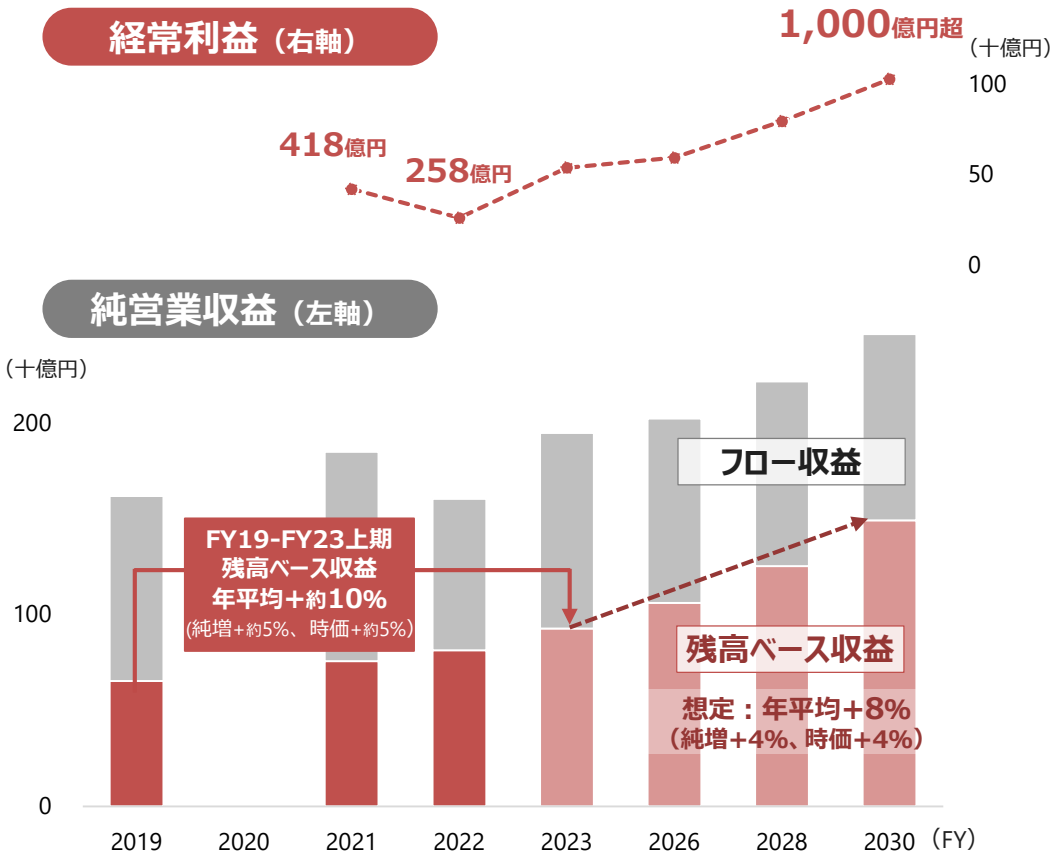
リテール部門

PASSION FOR THE BEST

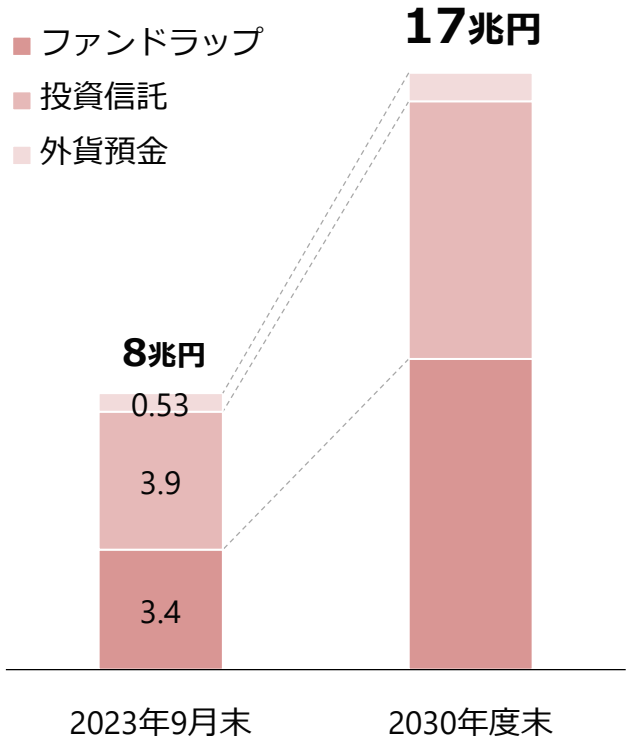
残高ベース収益が年8%のペースで増加した場合、フロー収益を横ばいと仮定しても2030年度のリテール部門経常利益は1,000億円を超過の見込み

リテール部門の経常利益 成長イメージ

2023年度以降の前提： フロー収益は、23年度上期実績を横置き
残高ベース収益は、2023年度をスタートに年8%の増加を想定



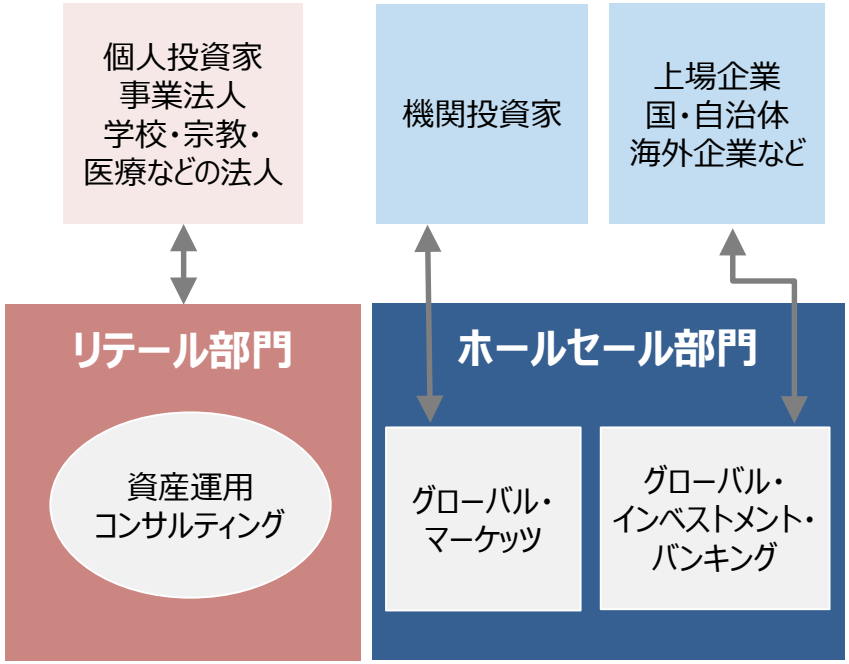
経常利益1,000億円達成に向けたストック関連資産残高イメージ



ホールセール部門　1/2

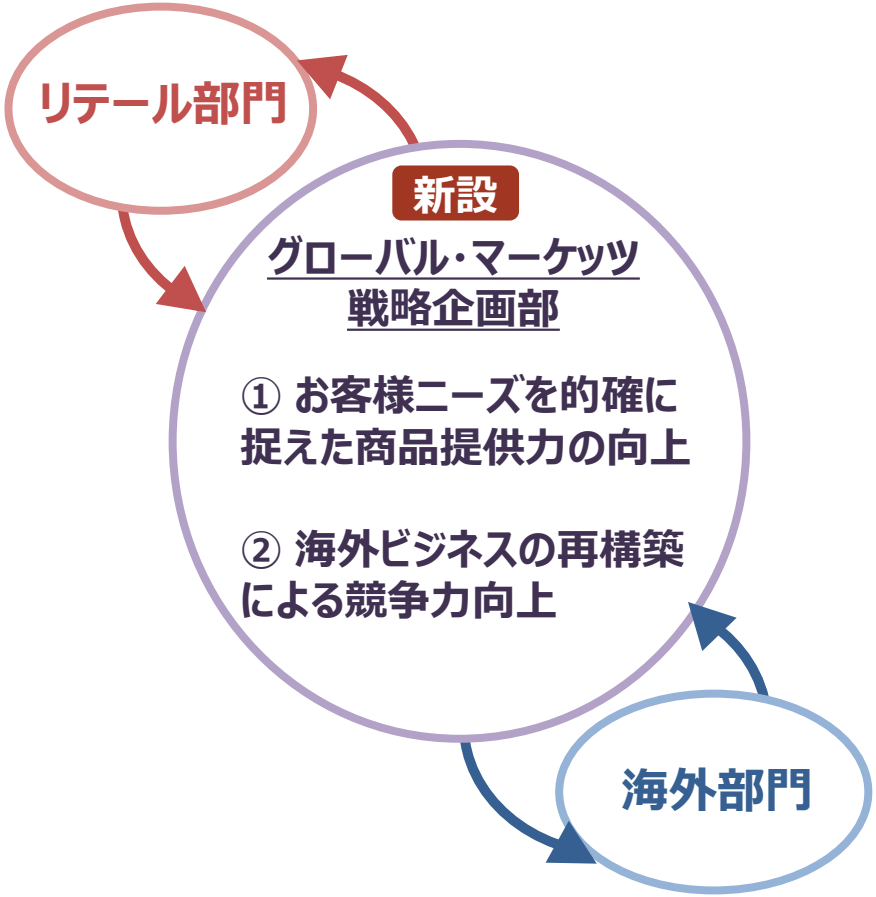
PASSION FOR THE BEST

リテール部門との連携強化、海外ビジネスの再構築を推進



リテール部門とホールセール部門は互いが車の両輪のように相乗効果を発揮し、お客さまにクオリティNo.1の価値を提供

グローバル・マーケッツ部門　2030年に向けた対応

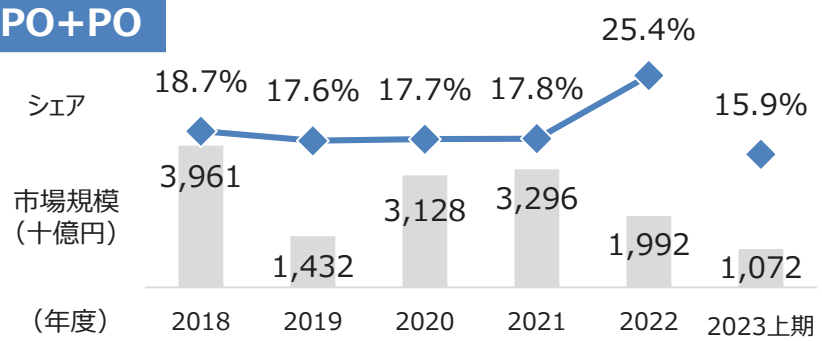


ホールセール部門　2/2

ECMはコーポレートアクションを検討する企業が増加。
M&Aはグローバルネットワークを活かし収益を拡大へ

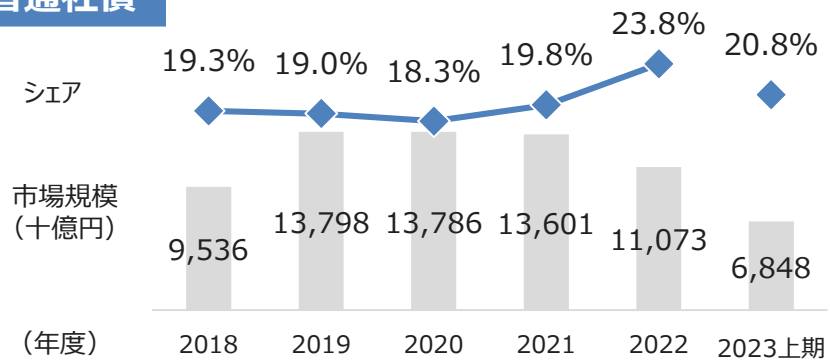
ECM、DCM 市場規模、シェア・順位*

IPO+PO



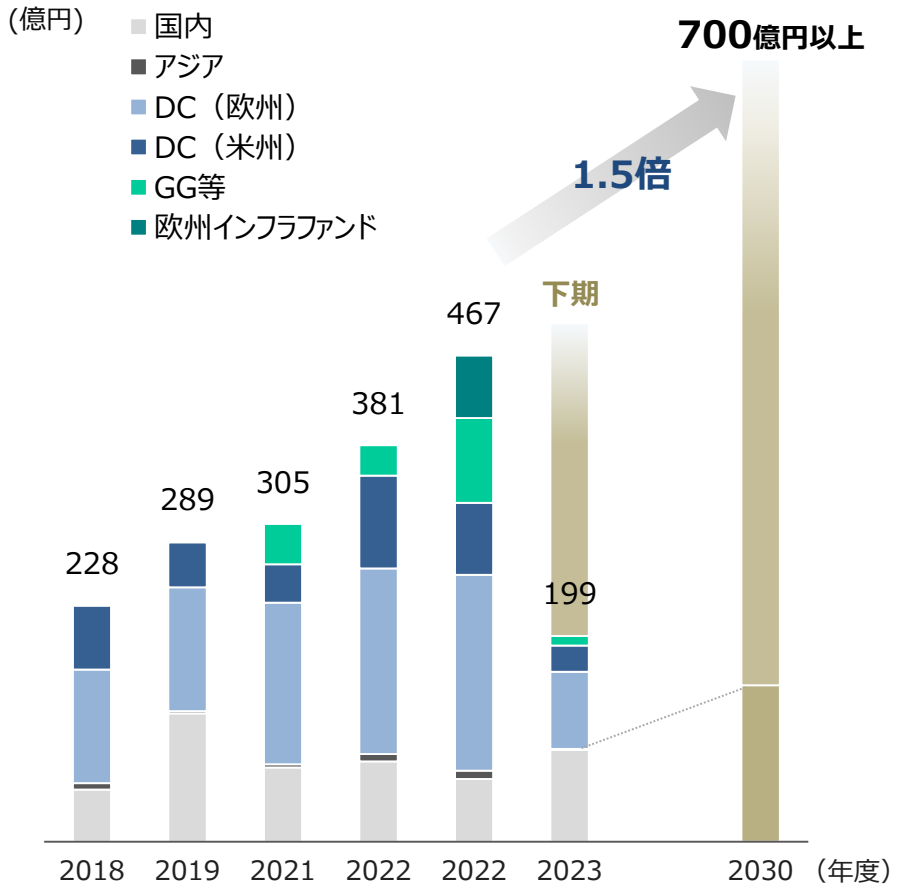
大和順位	2018	2019	2020	2021	2022	2023上期
	2位	2位	2位	1位	2位	2位

普通社債



大和順位	2018	2019	2020	2021	2022	2023上期
	3位	3位	4位	2位	2位	3位

M&A関連収益の推移



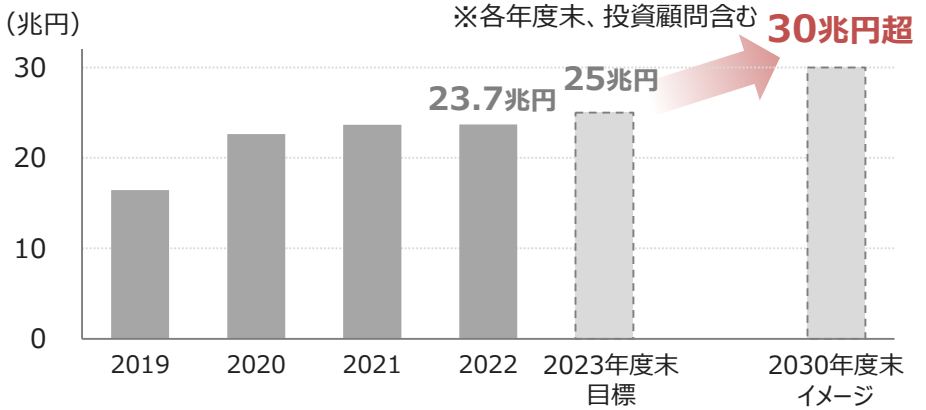
*　払込日ベース、普通社債は自社債除く

アセット・マネジメント部門

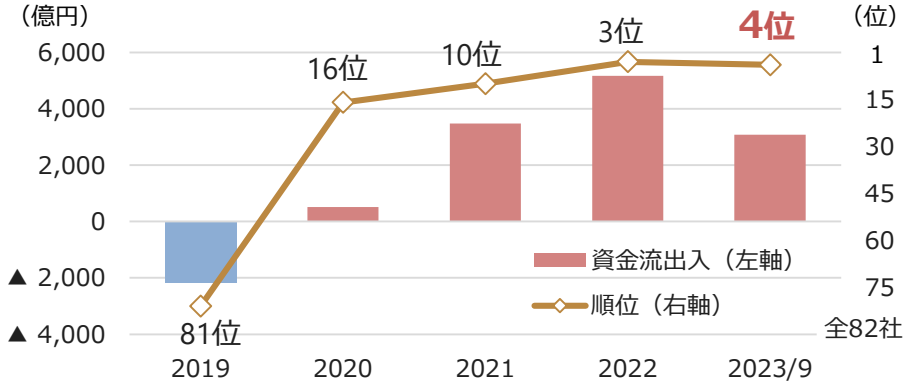
PASSION FOR THE BEST

当社グループ独自の強みを生かした運用資産拡大戦略により、
持続的な利益成長を目指す

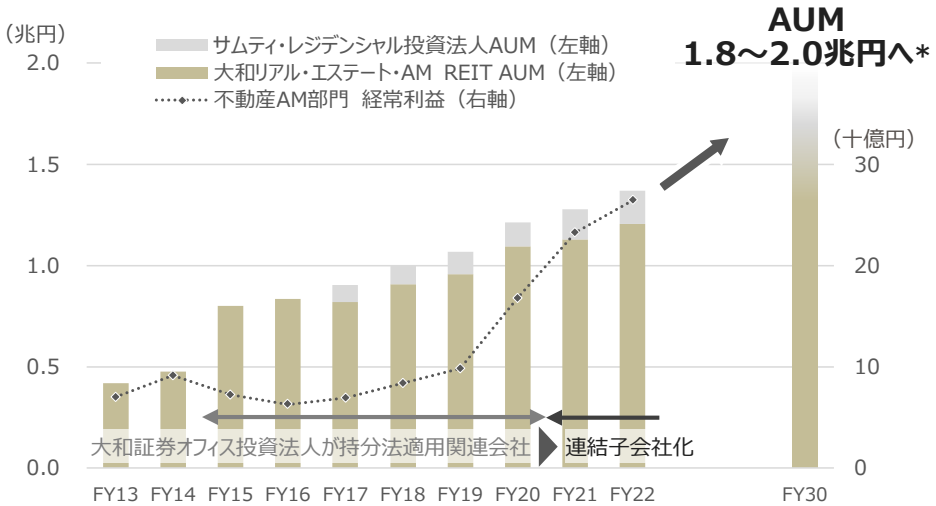
証券アセット・マネジメント部門運用資産総額



公募株投（除くETF）資金流出入と業界ランキングの推移



不動産アセット・マネジメント部門運用資産総額



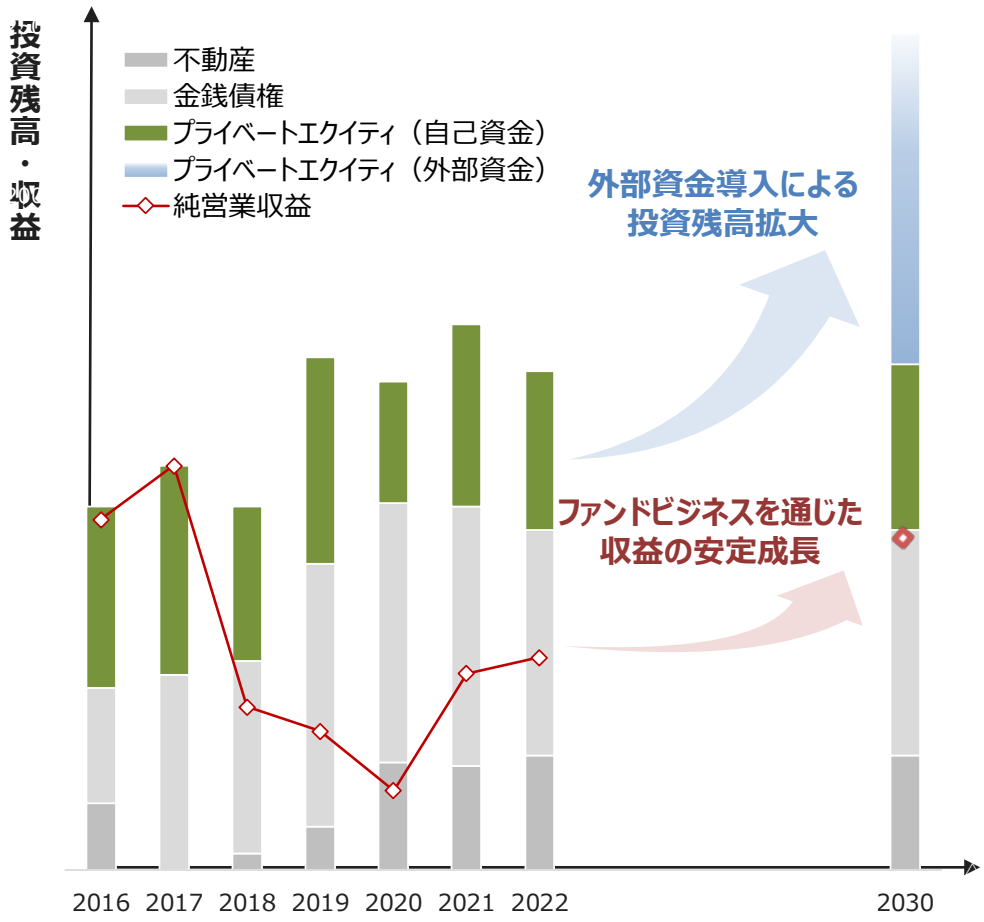
* 1.8兆円を上回るAUM達成には良好な取得環境、REITのM&A、投下資金（枠）等の条件が満たされる必要がある

投資部門

PASSION FOR THE BEST

投資部門は自己資金による投資中心から、外部資金導入による ファンドビジネス中心のビジネスモデルへ

大和PIパートナーズにおけるファンドビジネスへのシフト



大和エナジー・インフラ

2023年9月　残高 1,700億円

2023年度目標
残高 2,000億円
経常利益 150億円

2030年頃のイメージ　自己投資残高 2,500億円 ＋外部資金

大和ネクスト銀行

「金利のある世界」にシフトすることで、運用利鞘・資金運用収益の拡大を見込む

2023年第3四半期
経常利益 83億円

利鞘：0.69%

<円金利上昇の影響>

日銀当座預金の付利金利が上昇

預金コスト増加額以上の収益増加

金利上昇に連動し収益増加

資産 6.0兆円	負債 5.8兆円
現金預け金 2.5兆円	円預金 4.5兆円
貸出金 2.0兆円（日本国政府向け 0.9兆円、資産流動化ローン等 1.0兆円）	外貨預金 0.5兆円
有価証券 1.2兆円	純資産 0.1兆円

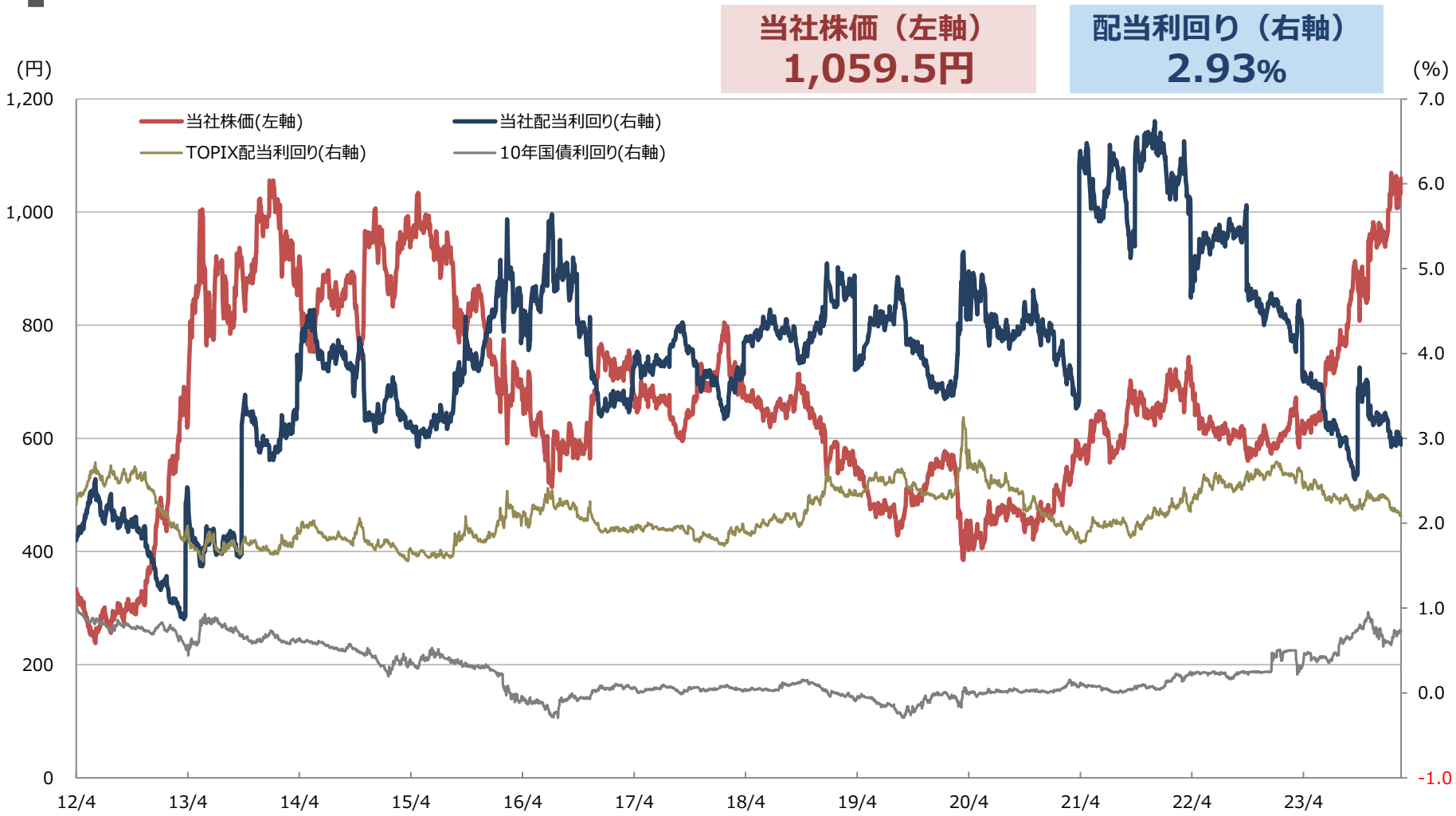
円預金 → 利鞘 ↗、残高 ↗ → ↗

外貨預金 → 利鞘 →、残高 ↗ → ↗

2023年12月末

株価・配当利回り

当社配当利回りは、TOPIX配当利回りを上回る



出所：Bloomberg　TOPIX配当利回り、当社配当利回りは年間の配当実績に基づき計算。2024年2月16日時点

新NISA：メリットと留意点

非課税投資枠が拡大し、保有期間も無制限に

	つみたて投資枠	成長投資枠
年間非課税投資枠	計360万円	
	120万円	240万円
非課税保有期間	無期限	
投資可能期間	恒久化	
非課税保有限度額（総枠）	1,800万円 （うち成長投資枠としての利用は1,200万円まで）	
投資対象商品	長期の積立・分散投資に適した一定の投資信託	上場株式、投資信託等*
投資方法	積立	スポット・積立
売却した場合の扱い	翌年以降、非課税枠の再利用が可能	

メリット

- ✓ つみたて投資枠と成長投資枠が併用可能
- ✓ 投資できる金額が大幅にアップ
- ✓ 非課税保有期間が無期限に
- ✓ 制度が恒久化
- ✓ 1,800万円の非課税限度額は、生涯利用可能

留意点

- ✓ NISA口座は1人1口座のみ
- ✓ 金融機関によって取り扱う商品が異なる
- ✓ 対象はNISA口座で新規に購入した商品のみ
- ✓ 特定口座や一般口座との損益通算や繰越控除はできない

* ①整理・管理銘柄、②信託期間20年未満、高レバレッジ型及び毎月分配型の投資信託党は除外

株主・投資家の皆さまへの情報発信

PASSION FOR THE BEST

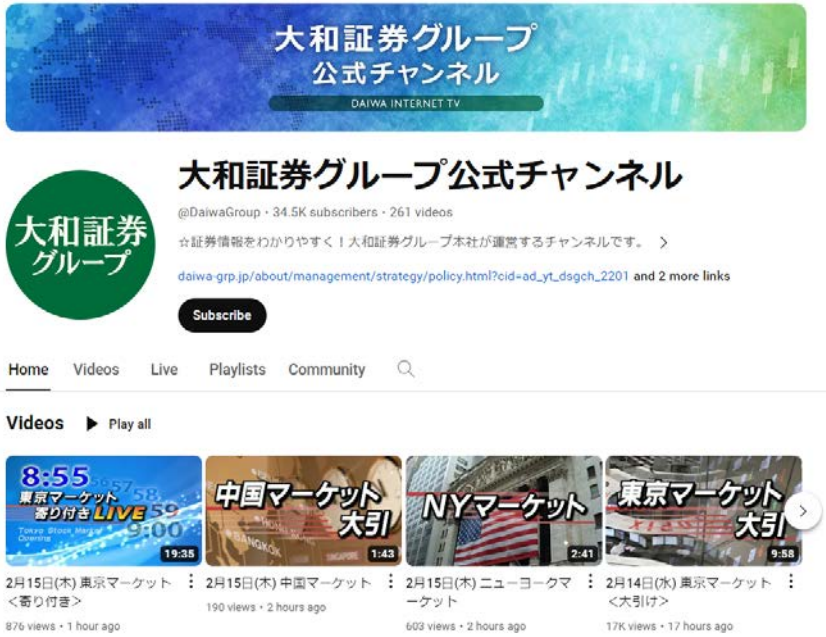
最新情報は当社IRウェブサイトをご覧ください

IRウェブサイト

【URL】https://www.daiwa-grp.jp/

大和証券グループ公式YouTubeチャンネル

【URL】https://www.youtube.com/c/DaiwaGroup



PASSION FOR THE BEST

大和証券グループ本社　経営企画部IR室
E-mail: ir-section@daiwa.co.jp
URL: https://www.daiwa-grp.jp/ir/